

# NEW AGE MEDICINE



2023  
**10**  
vol.11

Japanese College of Intravenous Therapy



点滴療法研究会

## 【点滴療法 症例報告】

ひかり免疫療法  
くまもと免疫統合医療クリニック 院長 赤木 純児先生

高濃度ビタミンC点滴療法  
きさぬきクリニック 院長 木佐貫 浩一先生

幹細胞培養上清液治療  
宮の沢総合クリニック 院長 三浦 哲哉先生

## 【会員クリニックのご紹介】 vol.8 おおこうち内科クリニック

### 【最新海外情報】

寿命を延ばす8つの習慣  
NR(およびNMN,NAD+)がアルツハイマーの  
予防・治療に役立つ可能性  
パーキンソン病と腸の深い関係

### 【歯科コラム】

経口ビタミンCの生物学的利用能での  
予測外の早期反応  
森永歯科医院 院長 森永 宏喜先生



## 点滴・栄養療法 症例報告

# ひかり免疫療法を取り入れたAKAGI Methods変法で完全寛解(CR)となった腸管膜リンパ節転移を伴ったびまん性大細胞悪性Bリンパ腫の1例



くまもと免疫統合医療クリニック 院長

## 赤木 純児 先生

### 【略歴】

1983年3月:宮崎医科大学卒業  
1989年3月:熊本大学院医学研究科博士課程 修了  
1983年4月:熊本大学医学附属病院第二外科  
1984年10月:熊本市市民病院(外科、麻酔)  
1989年4月:国立宮崎病院  
1991年7月:熊本大学医学部附属病院第二外科助教  
1992年11月:米国NIH (NCI米国国立がん研究所)  
1995年4月:熊本大学医学附属病院第二外科講師  
1998年7月:玉名地域保健医療センター 外科医長  
2000年6月:国立病院機構熊本南病院 診療部長  
2010年4月:玉名地域保健医療センター 院長  
2020年2月:くまもと免疫統合医療クリニック 院長

### 【所属学会】

日本外科学会、日本消化器外科学会、日本消化器内視鏡学会、日本消化器病学会、日本乳癌学会、日本胃癌学会、日本統合医療学会、日本ハイパーサーミア学会、日本バイオセラピー学会、日本東洋医学会、日本大腸肛門病学会、日本癌治療学会、日本癌学会、日本臨床腫瘍学会、日本内視鏡外科学会

### 【認定医・専門医】

日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医、日本消化器病学会 専門医、日本臨床腫瘍学会 暫定指導医・教育医、日本がん治療認定医、日本乳癌学会認定医、消化器がん外科治療認定医(日本消化器外科学会)、麻酔標榜医、日本統合医療学会認定医、日本乳癌学会認定医、日本ハイパーサーミア学会認定医、日本ホメオパシー医学会認定医

### 【その他の資格】

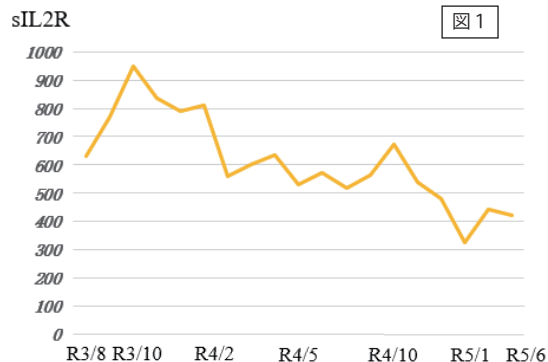
国際水素医学科学研究会理事長、日本統合医療学会理事、日本統合医療学会熊本県支部長、日本アロマテラピー学会評議員

**症例** 71歳男性、  
びまん性大細胞悪性Bリンパ腫  
+腸管膜リンパ節転移

2020年10月にK大学病院にて上記診断。12月から化学療法を6クール施行した。しかし、ほとんど効果は認められず、手の痺れ(ペットボトルのフタも開けられない)、食欲低下などの副作用が強く出たため当院での治療を希望された。

2021年8月より当院にて免疫治療開始(オブジーボ/ヤーボイ、低容量化学療法(ペバシズマブ+ゲムシタピンorペバシズマブ+ロゼウス)、ハイパーサーミア、ひかり免疫療法、水素ガス吸入療法)。

治療後、腫瘍マーカー 可溶性IL-2Rは徐々に低下して、正常化した(図1)。



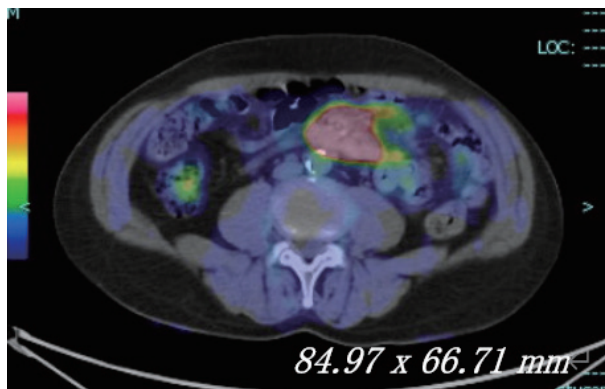
2021年7月のPET-CTで腸管膜リンパ節への強い集積を認めた(84.97x66.71mm)(図2)。

その後、定期的にPET-CTで経過を観察していたが、2023年3月のPET-CTでは腸管膜リンパ節への集積は完全に消失しておりCRと判定した(図3)。

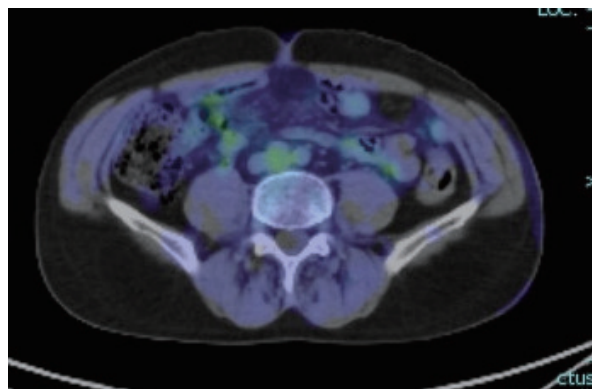
治療は、ハイパーサーミアによる温熱療法を週1回、オブジーボ+ヤーボイを2週間に1回、低用量化学療法を4週間に1回、ひかり免疫療法を4週間に1回施行した(AKAGI Methods変法)。

ひかり免疫療法は、ICGリボゾーム(合同会社革新的融合研究所)を点滴後、5時間から24時間以内に、ひかり照射を行う方法で、局所照射には近赤外線治療器(Super Lizer EX, 600-1000nm, 東京医研株式会社)を、血管内照射には

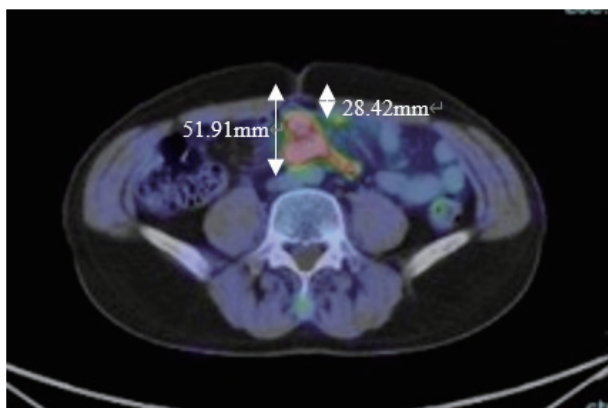




▲図2：腸管膜リンパ節転移 (2021年7月)



▲図3：治療後、CRに (2023年3月)



▲図4：腸管膜リンパ節に対するひかり照射部位

MLDSTM(Multi-Laser Delivery System)のRED Light (635nm)を使用した。

今回、ひかり免疫療法を選択したのは、腸管膜リンパ節腫瘍が腹壁より28.42mm～51.91mmの範囲にあり(図4)、スーパーライザー(最大5.5cmまで到達する)によるひかりが十分に到達すると考えられたからです。もうひとつの理由は、血管内にMLDSTMのRED Lightを照射することにより、びまん性大細胞悪性Bリンパ腫に起因して、血管内を流動する悪性リンパ細胞もたたくことができると考えたからです。

また、低容量化学療法を行うに当たって、抗がん剤の選択には、CTC(Circulating Tumor Cells、血中循環癌細胞)検査を行なった。CTCにより選択した抗がん剤はゲムシタピンとナベルピン(ロゼウス)でこれを4週間ごとに交互に施行した。高濃度ビタミンC療法は週1回施行した。これと並行して、水素ガス吸入を自宅で1日3時間以上施行してもらった。

この症例では、腸管膜リンパ節転移を伴うびまん性大細胞悪性Bリンパ腫に、ひかり免疫療法を取り入れた AKAGI Methods変法が非常に有効であった。このことから分かる

ことは、悪性リンパ腫などの血液のがんに対してもひかり免疫療法を取り入れることによりAKAGI Methodsが有効であると考えられた。

CR状態となり、PET-CTではがん細胞が検出できなくなったので、今後はCTCのOnco-Trace検査(血液中1ml中のがん細胞の数とそれが幹細胞マーカー(特に、OKT-4とSox-2)の発現状況を見る検査)で再発の可能性について経過を見ていく予定である。



## 点滴・栄養療法 症例報告

# 「自院での高濃度ビタミンC点滴療法について」

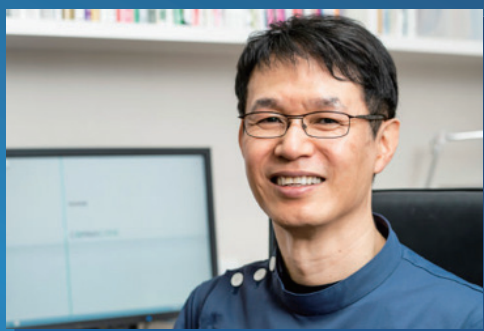
私の考える補完代替医療における点滴療法は、下記の5つのように考えています。

- (1)体内や自然界にある栄養素等を使う(ビタミンC、ビタミンB群、グルタチオン、ミネラル、過酸化水素、NMNなど)
- (2)血液に直接入れることで栄養素が栄養的効果だけでなく、薬理的作用を発揮する
- (3)酸化・抗酸化力を使った治療
- (4)体の中の毒素を出すことができる(デトックス)
- (5)副作用はほとんどない(適切な手順の元において)

点滴療法には、下記に示す通りの種類がありますが、自院では①高濃度ビタミンC点滴療法、②オゾン療法、③マイヤーズカクテル点滴、④グルタチオン点滴を施行しています。

高濃度ビタミンC点滴療法を希望される方は、1)がん治療・予防、2)慢性疲労(副腎疲労)、3)感染症予防(細菌、結核、ウイルス等)、4)アンチエイジング目的の方が多いです。

今回は、がん治療目的の高濃度ビタミンC点滴についての症例を報告いたします。



医療法人トータルメディカルケア  
きさぬきクリニック

**木佐貫 浩一** 先生

### 【略歴】

昭和63年3月熊本大学医学部卒業、平成7年4月熊本大学大学院医学研究科内科学専攻卒業博士号取得。

平成元年4月熊本大学医学部代謝内科(現熊本大学病院糖尿病・代謝・内分泌内科)入局。熊本医師会立熊本地域医療センター内科、公立玉名中央病院代謝内科(現くまもと県北病院)、国立療養所三角病院内科、国立病院機構熊本南病院内科、医療法人厚生会三角クリニック院長勤務を経て、平成23年3月シャワー通りきさぬきクリニック開業し、その後平成25年11月に現在の場所に移転開院。

### 【所属学会】

日本内科学会所属(認定内科専門医)  
日本糖尿病学会所属(専門医)  
日本内分泌学会所属(専門医)  
日本抗加齢医学会所属(専門医)  
日本肥満学会所属など

### 点滴療法の種類

- ①高濃度ビタミンC点滴
- ②オゾン療法
- ③マイヤーズカクテル点滴
- ④グルタチオン点滴
- ⑤キレーション療法
- ⑥プラセンタ療法
- ⑦アルファリポ酸点滴
- ⑧NMN点滴・NAD点滴
- ⑨エクソソーム点滴





### 症例1 67歳女性 悪性リンパ腫(濾胞性リンパ腫)(CR)

2016年6月悪性リンパ腫(濾胞性リンパ腫)Stage IIIと診断され、同年8月10日からR-CHOP療法を開始、同年11月までに5クール(6クール予定)で終了。同年9月12日より高濃度ビタミンC点滴25gを開始し、その後は50gを週に1回施行。

2017年1月CTにてCR。その後、月に1~2回程度50gを施行し、現在も再発なし。

### 症例2 35歳男性 下行結腸がん術後

2018年7月30日にイレウスにて入院し、下行結腸がんによる腸閉塞の診断にて左半結腸切除を施行された(pT3(ss)N2M0 p Stage IIIb)。2018年9月5日~2019年1月30日間に術後補助化学療法としてXELOX療法を8クール施行される(同時に他医で2018年10月1日に細胞免疫療法併用)。2019年2月6日より高濃度ビタミンC点滴療法25gを開始(化学療法6クール目、現在50g2週間に1回)。2019年3月1日のCTでは再発を認めず。

### 症例3 54歳女性 左側乳がん術後

2018年9月に乳がん(左側)の手術を受けた(Stage Iリンパ節郭清なし)。2019年9月5日より高濃度ビタミンC点滴療法を開始し(25g継続中)、定期的検査にても、現在再発なし。

### 症例4 79歳男性 骨髄異形成症候群

2017年5月に骨髄形成症候群と診断され、抗がん剤治療を施行していた(以前に肺がん、前立腺がんの手術の既往があるも完治している)。2019年1月15日より自院にて高濃度ビタミンC点滴療法25gを開始し(以前は他医にて施行していた)、その後も25gを月に1回程度の点滴を施行中であるが、定期的検査にても病状は落ち着いている。

### 症例5 73歳男性 上行結腸がん術後

2022年6月に上行結腸がんの手術を受けた(Stage I)、その後定期的に検査を受けていた。2023年2月16日より高濃度ビタミンC点滴療法25gを開始し、同年6月20日の腹部CT等の検査にて異常はなし。



以上の症例では高濃度ビタミンC点滴療法が効果あったと考えています。

しかし、他の49歳男性・左側腎臓がん術後+肝転移、58歳女性・右側肺がん+肺内転移+胸水貯留、84歳女性・胆のうがん、78歳女性・膵臓がん等の患者では、高濃度ビタミンC点滴療法単独、または化学療法と併用でしたが(副作用の嘔気、食欲不振、倦怠感等は軽減できました)、延命効果は認めたものの、なかなか完治には至りませんでした。もう少し点滴の回数やビタミンC量を増やせばよかったのではないかと考えています。

今回の症例報告から手術や化学療法で一旦完治・CR(完全奏功)した患者に施行する場合は高濃度ビタミンC点滴療法の効果があったと考えています。(自院では70歳を超える高齢者に対しては50g以上の量では輸液の容量負荷になり、心臓に負担がかかると考えて施行していません。)

今後は食事やサプリメント療法、そして点滴療法を組み合わせたりすることで、より効果的な治療をしていこうと考えています。

## 症例募集

点滴/栄養療法に関する症例を随時募集しております。詳細は事務局にお問い合わせください。



info@iv-therapy.jp

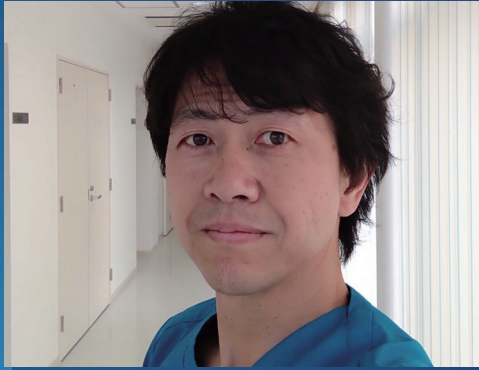


03-6277-3318



# 点滴・栄養療法 症例報告

## 幹細胞培養上清液治療～症例報告および考察



医療法人社団 M  
宮の沢総合クリニック 院長

### 三浦 哲哉 先生

#### 【学歴/職歴】

1966年: 青森県生まれ  
1986年: 北海道大学医学進学課程入学  
1992年: 同大学医学部を卒業、同学部第二外科に入局  
1997年: 北海道大学医学部大学院癌研究所遺伝子制御部門に  
進学し、癌の遺伝子治療研究を行なう  
2001年: 宮の沢総合クリニックを開設  
2012年: 札幌市西区発寒6条13丁目1-22に移転  
2021年: 幹細胞培養上清液治療クリニック (Miraclic) を開設  
<https://miraclic.care/>  
2022年: 医療法人社団Mに改組

#### 【学会】

一般社団法人 国際幹細胞臨床研究会 代表理事  
(International Stem Cell Clinical Research Association)

#### はじめに

近年、再生医療のひとつである幹細胞培養上清液治療に注目が集まっています。本療法はアンチエイジングや美容目的に使われることも多いのですが、その芳しい効果のため疾患の治療にも応用されてきています。しかし、我が国における本療法の歴史は比較的浅くまだまだ不明な点も多いのが現状です。

本稿では私のクリニックでの幹細胞培養上清液治療の症例を報告するとともに、本療法についての考察(私見)を述べたいと思います。

#### 症例 52歳女性、右被殻出血 (2021-12-21)

#### 治療に使用した薬剤

ヒト骨髄由来間葉系幹細胞培養上清液

#### 臨床経過

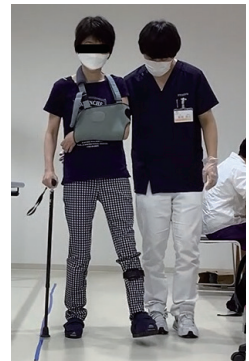
#1 治療前 (2022-06-28)は患側(左上下肢)に力が入らず動作が悪い状態でした。担当医師からは「今後状態は徐々に悪化してゆくだらう」と宣言。(写真1)

#2 2022-07-26治療開始  
骨髄幹細胞培養上清液10mlを右総頸動脈から投与。  
以後、2週間毎に同じ治療を継続。

#3 6回治療後に効果判定のための動画撮影を行いました。

動画が示すように、ジャンプできるようになりました! (動画参照)

下肢に力が入るようになったことおよびバランス感覚が良くなったためと考えられます。



▲写真1

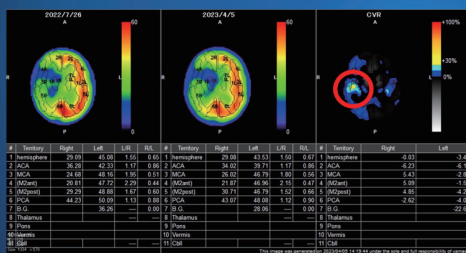


▲動画QRコード

その後も治療を続けるに従いますます改善してきており、杖が不要になりました。 (治療効果は頭打ちにはなりません。) また、気持ちも前向きになり、職場復帰できました。SPECT検査では、患部の血流が(治療前と比較し)30%増加したことが確認されました。(写真2)

◀写真2

治療開始前 (発症から7か月後)      治療開始から9か月後 (発症から16か月後)



脳の血流が**30%以上**回復したことが証明されています!!

## 考察

幹細胞培養上清液とは、幹細胞を培養する際に生じる培養液です。幹細胞は培養されている間、さまざまな物質を培養液中に放出します。それら多数の物質が含まれた培養液をトリートメントに使うのが本療法です。(細胞そのものはいりません。)

それら培養液中の物質の分類方法(分類の視点)は様々ですが、下記の通り、分子構造により分類する方法がよく用いられます。

- ・低分子、高分子化学物質
- ・無機、有機
- ・タンパク質(高分子・低分子)
- ・エクソゾーム(内部にマイクロRNAなどを含んだ小さい袋)など

では、それぞれの物質は何が有益で何が不利益なのか?この点については、同じ物質でも使用する対象疾患・投与方法(特に投与量)によって有益性は違っておりクリアに区別することは容易ではありません。

一方、幹細胞培養上清液のクオリティーについては現状では統一された評価方法はなく各施設が独自の評価方法を採用しているため、同じ幹細胞培養上清液といってもその品質には大きな差があります。

次に、幹細胞培養上清液のクオリティーはどのような要素によって左右されるのか?考察してみたいと思います。私見ではありますが、それはワイン商品の良し悪しに例えて考えると理解しやすいと思います。ワインの場合、最終的な味の良さを左右する要素としては…

## A: 原材料の良さ

ワインの場合は、元となるぶどう自体の良さが問われますが、これは幹細胞培養上清液の場合は培養に使う幹細胞自体の良さに相当します。つまり、その幹細胞はどこから得られたものなのか?が問われます。

- 自分なのか?他者なのか?
- 年齢はいつか?(若いほどクオリティーは高いです。)
- 健康度はどうか?
- どの臓器、組織から採取されたのか?  
(骨髄・歯髄・臍帯・脂肪などがあります。)

でクオリティーが違ってきます。

一方、現実の問題として本治療を受ける患者さんの多くは

- 年齢は中年以上
- 健康度合いは低め
- 採取部位は限定される  
(現実的には、脂肪組織からしか採取できない)

であることから患者さん自身から得られる幹細胞のクオリティーは低いです。

そのため、患者さん自身の幹細胞を使って培養上清液を得ることはなく、他者のクオリティーの高い幹細胞と使って得られる培養上清液をトリートメントに使うことがほとんどです。

## B: 製造工程の良さ

ワインの場合、製造工程の良さ(製造マシン・職人の技)が重要であるのは言うまでもありませんが幹細胞培養上清液の場合も全く同じです。

- ・培養方法(培養液・温度管理・タイムスケジュールなど)
- ・継代数(少ないほどクオリティーは高いです)
- ・不純物除去(これを行っていない製品も多いです) など

## C: 保管管理方法

苦勞して出来上がったワインのクオリティーを落とさないように保管するにはどうすればよいか?幹細胞培養上清液の場合は、常温で放置するとすぐに失活するため、その保管方法は特に重要です。冷凍で保管する方法・ドライパウダー化して保管する方法がよく行われます。

## D: この段階での評価方法

このようにして出来上がったワインの評価はどうするか?ワインの場合は古い歴史があるため評価方法は定まったものがありますが、幹細胞培養上清液の場合、まだ歴史が浅いため評価方法は現状では規格化されたものではありません。今後の課題のひとつと考えられます。

## E: 実際に投与する段階では、その投与方法が重要です。

いくらクオリティーの高いワインでも、最後の使い方を間違えるとせっかくのパフォーマンスが台無しになってしまいます。どの料理にはどのワインがベストマッチするのか?(適材適所)ワインの飲み方はどうするのか?(投与ルートはどうか?一度に使う量はどうか?全体の治療プランはどうか?)

また、他のテクニック(治療法)との組み合わせも重要です。食事の場合と同様に、他の要素と組み合わせることで本療法の効果が倍増することが大いに期待できます。

## F: また、いかにコストダウンして治療を継続しやすくするか?

も現実の治療場面では重要です。

これら全てが最終的な治療効果・患者さんの満足度を左右します。

一方、近年、AIを使い現実データからその根底にある原理法則を発見するためのヒントを得る試みがなされています。せっかくの臨床データも十分に吟味されなければ、宝の持ち腐れ・もったいないことになってしまいます。これらの吟味はこれまでは人間(科学者・医師)の頭脳に頼る部分がほとんどでしたが、今後は新しいデータ分析技術も積極的に医療に取り入れることによって、人間では気づかない一手(盲点)をAIから示唆され新たな治療法の開発のブレイクスルーが生まれる可能性があります。

今後、本療法を発展させるためには、旧来の医療研究の手法にこだわらず積極的に他の研究分野(データ分析分野など)とも共同し治療を改良するという柔軟な姿勢が何より重要となると思われます。





点滴療法研究会

# 高濃度ビタミンC点滴療法 認定医制度



## 認定医制度とは

点滴療法研究会では、国民に安心して高濃度ビタミンC点滴を受けていただくため、正しい知識を持った会員医師に認定医資格を設けています。現在、約500名の方が認定医資格を取得しております。  
(2022年1月現在)



認定証を発行。  
安心して患者様に  
選ばれる医院に



当会が質を保証する認定証を発行。自院等でもご紹介いただけます。

※額縁は別売です。

クリニック検索で  
上位表示されるから  
集患効果アップ



当会のホームページにおけるクリニック検索でご紹介。検索時に優先的に表示されます。

## 受験案内 (年1回開催)

2023年 **12月3日(日)**

■会場：東京

会員サイトの  
認定医ページはこちら▶



## 資格

- マスターズクラブ会員であること
- ベーシックセミナーⅠの受講
- ベーシックセミナーⅡの受講
- 高濃度ビタミンC点滴療法認定医講習会の受講

※注意 マスターズクラブを退会すると認定医資格はなくなります。

他にも2種類の認定医制度をご用意しています。 **オンライン開催**

キレーション療法 認定医

受講期間

2024年 **7月28日(日)**  
6月27日(木) ~ 7月27日(土)

オゾン療法 認定医

受講期間

2024年 **8月25日(日)**  
7月24日(水) ~ 8月24日(土)

# 点滴療法導入から定着への 3つのステップ

点滴療法をクリニックの定番メニューとして定着させるためには、先生やスタッフの知識・技術向上に加え、患者様への訴求強化も重要なポイント。点滴療法の導入から、患者様への認知拡大・集患まで、特に重要な3ステップと当会の提供サービスをご紹介します。是非ご活用ください！

STEP  
**01**

正しい点滴療法を提供しよう

ベーシックセミナーを受講しましょう。

スタッフ教育サポートとして「点滴手技マニュアル」や「点滴手技動画」もオススメです。



STEP  
**02**

患者様からの認知を高めよう

点滴療法研究会の  
クリニック検索サイトに  
情報を登録しましょう。



会員の  
**7割**が  
活用中!

【掲載条件】  
ベーシックセミナーⅠ  
受講済みで当会の会  
員であること

ログインはこちら



患者様の半数以上が前もってクリニックをWEBで検索するというデータがあります。WEBの活用はクリニックを知ってもらう第一歩です。

年間検索数  
**8万回**  
以上

会員限定  
**無料**  
掲載

STEP  
**03**

さらなる認知拡大を目指そう

詳細ページ作成で  
さらに集患力を  
高めましょう。(有料)

見つけて  
もらいやすい!  
検索上位  
表示可能に



【掲載内容】  
院内写真/医院の特徴/ドクターインタビュー/治療へのこだわり/患者様へのメッセージ/アクセス情報など

お申し込み  
ご相談はこちら



興味をもった患者様を逃さないためにも、更に詳しい内容を掲載することは大切。院内の雰囲気や先生のこだわりを掲載することで、患者様がより安心して受診できるよう、後押しします。

制作費

15,000円割引!  
45,000円 → **30,000円(税込)**

11/30まで  
キャンペーン中

掲載費

**0円** ※掲載は会員期間中に限ります。

お申込・ご登録方法など、ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

Mail : info@iv-therapy.jp TEL : 03-6277-3318



# 血中水素飽和度2.0%が科学的に証明された水素吸入機

※慶應義塾大学医学部との共同研究/医学誌 ELMER PRESS に掲載された論文に基づく

「水素吸入療法」と同じ血中水素飽和度を実現できる高品質モデル

## 水素吸入機 H2J11

### 圧倒的な耐久性能・長寿命・低ランニングコスト



#### 水素発生デバイス寿命約50,000時間\* 世界最高クラスのハイグレード電解セル搭載

- 一般的な電解セル寿命は500~3,000時間/ハイモデルで5,000時間といわれています。
- 毎日8時間ご利用の場合、約17年間電解セル交換が不要になる計算となります。
- \*正しい使用方法でご利用頂いた場合。/メーカー保証期間は1年間となります。

#### 厳格な第三者認証機関による適合性試験クリア EU規格・米国規格適合、安心の高品質モデル

- 医療機器・ペースメーカー等に影響を与えないようノイズ規格・静音性規格・安全性規格に適合。
- 静音性50dB以下(図書館内・閑静な住宅地レベル)
- 24時間・365日連続稼働可。



#### 6~12ヵ月に一度の簡単メンテナンス 低ランニングコスト・低燃費

- フラッシングとクリーンバッグ交換だけの簡単メンテナンスで長寿命と超耐久性を保持。
- 15分程度のメンテナンスはご自身で実施できるのでランニングコストが軽減されます。
- 低燃費:精製水1Lで約60時間の水素発生/消費電力:140W

#### 衛生的でストレスフリーな運用を実現 結露(水滴)防止機能搭載

- カニューレ内の結露(水滴)防止ドライヤー搭載。
- 結露(水滴)を気にすることなく、100%水素ガスを衛生的かつ安心して吸入頂けます。

### 科学的根拠に基づいた正しい水素吸入を実現

メーカー希望小売価格: 242万円(税込)

- 会員様むけ特別価格・特別協賛品をご用意
- 医療機関様向けリース・レンタル・分割プランもごございます

無料デモ機のお貸出実施中。  
ぜひお問合わせください。

## 株式会社 ドクターズ・マン

メディカル事業部までお問い合わせください

TEL 045-905-2330

info@doctorsman.com



Wellness &  
Detox



# 株式会社デトックス

株式会社デトックスは世界トップクラスの検査、治療製剤と高濃度の天然成分の紹介・販売を行っています。



## RGCC社 血中循環腫瘍細胞 (CTC)検査のご案内

以前より、国内でもCTCの検査はいくつか出てきております。  
然しながらCTCはその数だけでは意味がありません。

RGCC社のCTC検査は医師に患者様個人個人への個別化の統合的ながん治療を加療するのに必要な臨床情報を提供します。

主な内容は：

- ・ 標的にすべき種々のがん遺伝子の発現
- ・ 効果がありうる抗がん剤／分子標的／小分子製剤の試験結果
- ・ 検査で効果が認められた点滴用天然成分
- ・ 検査で効果が認められたサプリメント

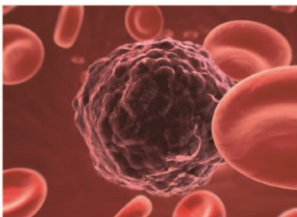
以上の効果判定が提供され、ピンポイントの治療が可能となります。

※RGCC社の検査結果通りに天然成分のみで治療を行いCTCがゼロに数年間にわたり留まっている臨床結果が国内にあります。

臨床の先生方、ひいては患者様に役立つ検査ですので是非お問い合わせの上、臨床のお役に立ててください。

RGCC社は検査の他、治療用製剤、免疫不全の患者様への免疫治療製剤、抗がんサプリメントの製造、販売にも大きくかかわっています。

### がん幹細胞検査 (RGCC 社)



- ・ 再発転移の指標として患者様の血液から循環腫瘍細胞 (CTC) を分離、同定
- ・ 抗がん剤 (約 50 種) や分子標的薬 (約 65 種)、天然成分 (約 50 種) の感受性を検証
- ・ 患者様に対して効果が期待できる製剤・天然成分を提案

循環腫瘍細胞検査 CTC 研究会



お問い合わせは(株)デトックスまで



〒102-0093  
東京都千代田区平河町1-6-15 USビル 301  
TEL : 03-5876-4511 FAX : 03-3222-5770  
E-mail : info@detox.jp URL : http://www.detox.jp





## 医療法人大河内会 おおこうち内科クリニック

### 理事長 大河内 昌弘先生

#### 【プロフィール】

平成2年3月 名古屋市立大学医学部卒業  
 平成2年4月 名古屋市立大学第一内科入局  
 平成2-3年 名古屋市立大学病院研修医  
 平成3-10年 愛知県公立尾陽病院内科医  
 平成10-15年 名古屋市立大学病院臨床研究医、  
 または、研究員  
 平成15-17年 アメリカルイジアナ州立大学生理学教室  
 客員研究員  
 平成18-19年 名古屋市立大学病院臨床研究医  
 平成19年～ 厚生連尾西病院内分泌代謝科部長  
 平成22年～ 名古屋市立大学消化器代謝内科学  
 臨床准教授  
 平成24年10月 おおこうち内科クリニック開業  
 平成27年5月～ 医療法人大河内会理事長に就任

#### 【資格】

日本糖尿病学会認定 糖尿病専門医  
 日本内科学会認定 総合内科専門医  
 日本内分泌学会認定 内分泌代謝科専門医  
 日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医  
 日本消化器病学会認定 消化器病専門医  
 日本医師会認定 産業医  
 など多数

#### 【賞罰】

●アメリカ糖尿病学会(ADA)に12年連続で口演  
 & ポスター発表  
 ●2010年アメリカ糖尿病学会(ADA)  
 Young Investigator Award受賞  
 ●2009年日本糖尿病学会総会 President poster  
 優秀演題賞受賞

### クリニックに導入している 点滴療法

- 高濃度ビタミンC点滴  
(がん治療/アンチエイジング)
- グルタチオン点滴
- マイヤーズカクテル



クリニック外観

### クリニックの特徴

当院はテーマとして『大感動クリニック』を掲げています。来院される患者様は病気で苦しんでいるだけでなく心も病んでいます。そんな患者様を癒すのはスタッフです。スタッフを大切にすることでスタッフが患者様に対してより一層ケアすることができるという信念の元、私は**スタッフ教育に対する取り組みを強化してきました。**

実は開業当初はトップダウンの組織で、そこまでクリニック経営は上手くいっていませんでした。そんな中で私自身が今までのやり方ではいけないと思い、変革することを決意。具体的には、スタッフと共にセミ

ナーに参加したり、自身で素晴らしい組織に関することを調査し、スタッフ教育への投資にも力を入れました。例えば、レストラン経営者からホスピタリティの話を聞いたときは、翌日からスタッフが患者様に対し、自らおもてなしの精神をもって行動するようになったのです。このようにクリニックの雰囲気が変わっていくのがとても嬉しかったのを記憶しています。

今ではスタッフを喜ばせるために私は命を懸けています。そうすると**スタッフは恩返ししてくれるようになります。それは院長の私に対してではなく患者様に向かっていくのです。**





## 点滴療法を導入するきっかけ

数年前、親族が末期の肺がんとなり大学病院の主  
 治医からは余命3カ月と診断されたことをきっかけに  
 新たな治療法を模索、高濃度ビタミンC点滴と出会  
 いました。

他の治療も組み合わせて治療した結果、3カ月と宣  
 告された命が3年6カ月も生きてくれたのです。しかも、  
 入院はほとんどせずに日本中旅行したり家族と過ご  
 す時間を多く持つことができました。

点滴療法は人の人生に良い影響を与えると実感し、  
 導入に至りました。



## 患者様への広告方法

ネット上で告知は厳しくなっているため院外に  
 向けての広告は最低限に留めています。

院内の集客ツールとして点滴療法研究会のデジタ  
 ルサイネージを活用することで、患者様が点滴療法に  
 興味を持ってきています。

また、患者様同士の口コミでどんどんと点滴療法  
 の魅力は広がってきています。

患者様への説明に関しては最初の同意書までは私  
 が、あとは最後のアフターフォローまでをスタッフが  
 やってくれているので安心して任せています。

## 点滴において気を付けていること 心掛けていること

当院ではスタッフ全員に点滴療法を体験してもら  
 います。実際に体験してもらうことで患者様目線  
 で感じることを、注意すべき点など様々な観点から考え、  
 サービスを提供することができます。

そして大切なことは、点滴療法は院長一人では、  
 決して沢山の数を実施する事はできません。です  
 から、点滴療法のメニューについてスタッフと何度か  
 勉強会を行い、スタッフにもしっかりと知識を  
 習得してもらっています。そうすることで、スタッフ  
 自身が自信を持ち、点滴療法の実施に積極的に協  
 力してもらえるようになっていきます。



## おこうち内科クリニック

■電話番号 0587-97-8300  
 ■公式サイト <https://www.okochi-cl.com/>  
 ■責任者 大河内 昌弘

■所在地 〒495-0015  
 愛知県稲沢市祖父江町桜方上切6-7  
 ■診療時間 9:00~12:00 16:00~19:00  
 ■休診日 水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

# 2024年新春企画



2024年初旬は、新しい年のスタートにふさわしいセミナーを企画しています。「新春ワークショップセミナー」ではセミナー終了後に5年ぶりの新年会を開催予定！ぜひ会場に足をお運びください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。



## 新春ワークショップセミナー

**ワークショップ**  
**現場から学ぶ**  
**点滴療法の“技”**

日時 **2024年1月28日** 日  
会場開催（東京）

医師・歯科医師・獣医師**6名**による  
現場での症例や治療法などの**“技”**を紹介

coming soon !

## 春の特別セミナー

### 最強のアンチエイジング医学 2024 (仮)

日時 **2024年3月17日** 日

会場開催（東京）

培養上清、エクソソーム、NMN・NADなど  
今注目の最先端医学を  
明日から導入できる**実践的**な内容で紹介

セミナー詳細は同梱の案内状もしくはウェブサイトよりご確認ください。





クリニック情報をお得に掲載して  
クリニック認知&集患UP!

# WEBリニューアルキャンペーン



クリニック詳細ページ制作&掲載を**特別価格**にてご提供

## クリニック詳細ページとは

当会ウェブサイトでは患者様向けに、会員クリニック検索を実装しています。詳細ページを作成すると、ドクターインタビューや写真の掲載などが可能に。クリニックのイメージがつきやすくなり、患者様により強力な訴求を行えます。

### 【掲載条件】

- ①点滴療法研究会会員であること
- ②点滴療法研究会主催「ベーシックセミナー」を受講済みであること。

## 制作・掲載費用

通常価格 45,000 円のところ

約 **33%**  
OFF

**特別価格 30,000 円** (税込)

15,000 円割引のともにお得なキャンペーンです!

詳しくは同封の案内状  
もしくは右コードより  
ご確認ください。



## 本リニューアルのポイント

### 検索性が向上します!

本リニューアルでは、患者様が目的別に合う点滴療法のクリニック検索をしやすくなります。さらに、点滴療法について知ることで治療の選択肢として選んでいただけるように、各種情報も充実させていきます。患者様による検索数も向上する見込みですので、クリニック様にとっても集患数を増やすチャンスです。

詳細ページで  
他院と差別化!  
選ばれるクリニックに  
なりましょう!



お得に掲載するチャンス!  
キャンペーンのしめきり日は

**11/30** 木



# 経口ビタミンCの 生物学的利用能での 予測外の早期反応

森永歯科医院院長／  
米国アンチエイジング医学会 認定歯科医師

森永 宏喜 先生

ビタミンC(VC)を経口で大量摂取した場合、腸管からの吸収能力の限界を上回るとガスの貯留や下痢を誘発することはよく知られていますが、**感染症などの罹患時にVCの体内需要量が増加するとその閾値は大きく上昇します。**しかしVCの血中濃度は摂取量に比例して増加するわけではありません。

この現象を説明できる可能性がある、**VCの経口摂取に関する興味深いレポートが発表されていますのでご紹介**します。

グルコースとVCの分子構造は酷似しており、IVC直後の自己血糖測定は無意味とされています。しかし、それを逆手に取ってグルコース計を使いVCの血中濃度の変化をモニターする手法を使っています。測定にはAbbott FreeStyle® Liteを用います。

もちろんこの計測からVCの血中濃度の絶対値が得られるわけではなく、濃度の相対的変化を知ることができます。実はこの事実は2015年には報告されており、**VC投与直後の非常に短いスパン(約2分間隔)の計測で予想外の結果が得られた**としています。

計測結果が評価に値することを確認する予備実験の後、以下の実験が行われました。

実験Aでは驚くべきことに、**最初の15分程度(内服量約4,000mg)は内服でも点滴でも血中濃度の増加の**

**ピードはほぼ同等**でした。その後、点滴では安定して増加しますが、**内服では急速に下降、不安定となります。**実験Bではこれも意外なことに、8~10分経過までは、点滴よりも内服の方がはるかに急速な血中濃度の増加をみたのです。そしてその後、実験Aと同じく点滴と内服の関係は逆転します。

この現象に対し著者は、実験Aで内服VCの濃度増加が10分過ぎから下降するのは胃酸によるpHの変化であろう、実験Bの結果は内服がアスコルビン酸であるのに対し点滴ではそのナトリウム塩としての適用であることが影響するだろうと考察しています。

したがって何らかの不調により胃酸や消化液の分泌に乱れがある状態では、内服したVCの吸収度合いも変化が生じることを部分的には説明できるであろうと結んでいます。これは**消化液の影響を受けにくいとされるリポソーム型製剤の優位性の根拠にもなり得るかも知れません。**

この論文ではその他にも興味深い実験が行われています。ぜひ原典をお読みになってみて下さい。

原典はこちら▶



## 【略歴】

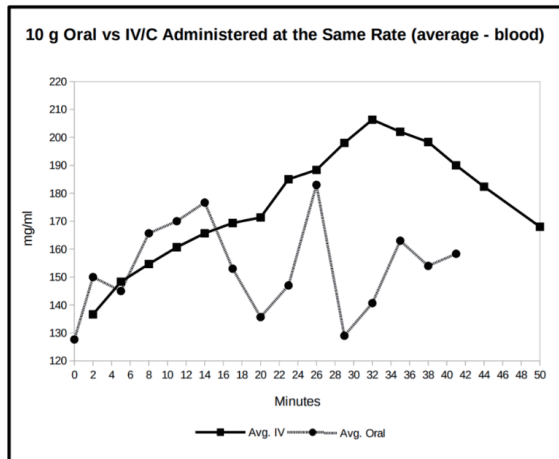
1963年：千葉県生まれ  
1988年：東北大学歯学部 卒業  
東京医科歯科大学歯学部 第一口腔外科 入局  
1992年：医院を継承（千葉県鋸南町）  
2009年：近隣に移転開業  
2013年：点滴療法研究会(JCIT) 高濃度ビタミンC 点滴療法 認定医  
2015年：米国アンチエイジング医学会(A4M) 認定歯科医師 (ABAAHP)、日本抗加齢医学会 専門医  
2019年：JCIT ボードメンバー、日本アンチエイジング歯科学会 常任理事・認定医

## 【著書】

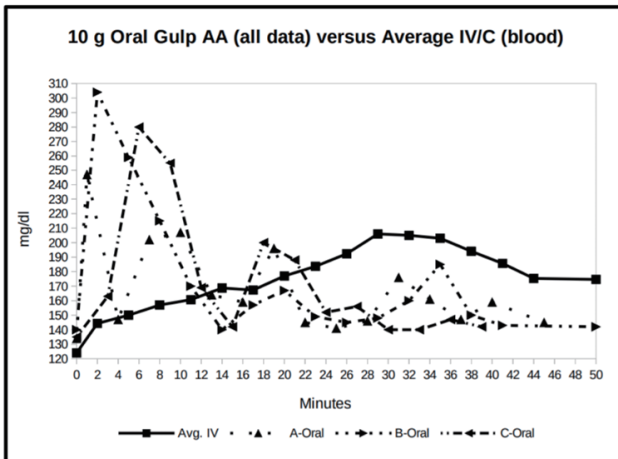
「歯周病はすぐに治しなさい!」(さくら舎)、「歯科からはじめるアンチエイジング栄養学」(デンタルダイヤモンド社)、「全ての病気は口の中から!歯が痛くなる前に絶対読む本」(さくら舎) など

## 【論文】

- オゾンモレキュラー療法の導入におけるチーム医療の役割について (Aging Science Vol.10:86-91,2013.)
- アンチエイジングのための「健康トライアングル」～健康寿命延伸のための口腔・腸・脳相関～ (Aging Science Vol.6 : 67-71,2017.)



▲実験A  
VC10g(10,000mg)を毎分250mgの速度で点滴した場合と、それと同量のVCを内服した場合の血中濃度を2分間隔で比較



▲実験B  
VC10gを一度に内服した場合と、同量を点滴した場合の比較 (内服の測定は機器3種で実施)



### 森永先生 ご講演セミナー

「歯科医師のための点滴療法ベーシック」の内容を一新。歯科診療メニューにすぐにプラスできるよう、点滴療法の基本を中心に事前検査から症例、プロトコル、禁忌、トラブルシューティング、法規などを詳しく解説。

#### 森永先生コメント

当会にご加入の先生であれば、点滴療法が疾患治療やアンチエイジングに有効なことは十分にご理解されていることと存じます。その医学的な意義が最も重要なのは論をまちません。

ですが、その実践にはいくつかのハードルがあるのも事実です。本セミナーは、これから本格的に点滴療法・栄養療法を導入されるクリニックがおさえておくべきポイントを、医学的にも法的にもご理解いただくことを目的としています。

当会の歯科領域で、今年度の先駆けとなるのが本セミナーです。受講の翌日から、先生の臨床には変化が現れることでしょう。11月に皆様にお目にかかれまことを楽しみにしております。

森永歯科医院 院長 森永宏喜

歯科医師の先生必見！  
**歯科診療で導入したい  
 点滴療法・栄養療法**  
 歯科診療のメニューに、予防から治療までオールマイティの栄養点滴療法を導入しませんか？  
 2023年  
**11月19日(日)**  
 森永歯科医院 院長 森永宏喜 先生  
 医療法人博愛会 理事長 加藤 通子 先生  
 点検療法研究会マスターズクラブ 会長 柳澤 厚生 先生

#### 講演内容

「歯科医師のための点滴療法」  
 ～高濃度ビタミンC点滴、  
 マイヤーズカクテルの基本編～

「歯科診療の点滴療法 導入と事例」  
 ～高濃度ビタミンC点滴、マイヤーズカクテル、  
 グルタチオン点滴～

「歯科診療の栄養療法 導入と事例」  
 ～栄養療法、点滴療法とのコンビネーション～

「知っておきたい歯科診療の点滴療法導入ステップ」

お申し込みは  
 こちら▶

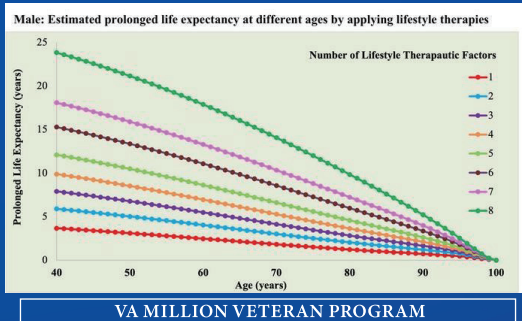




# 最新海外医学情報 PICK UP NEWS

## 寿命を延ばす8つの習慣

今年7月に発表された70万人のアメリカ人を対象にした研究で、日常に取り入れられる8つの習慣（下記）が10年単位での寿命延伸に関わることが明らかになりました。40歳の時点で8つの習慣をすべて持っている人は、ひとつもない場合に比べて男性で平均24年、女性で平均21年長生きすると予測されています。ひとつひとつの習慣はごく当たり前のことですが、これらが実際に20年以上の寿命延伸に繋がることが証明されたのは、非常に興味深いことであり、予防医学やアンチエイジングに関わる私たちにとっても無視できない内容です。



### 【寿命を延ばす8つの習慣】

- ①身体的に活動的であること
- ②オピオイド中毒ではないこと
- ③非喫煙者であること
- ④ストレスを管理すること
- ⑤良い食生活を送ること
- ⑥暴飲暴食を定期的に行わないこと
- ⑦良い睡眠衛生を保つこと
- ⑧前向きな社会的関係を持つこと

X. T. Nguyen. These eight habits could lengthen your life by decades. *AMERICAN SOCIETY FOR NUTRITION* Jul. 2023

## NR (およびNMN、NAD+) がアルツハイマーの予防・治療に役立つ可能性

ビタミンB3の一種で、NMNの類似物質であるNR (ニコチンアミドリボシド) は、NAD+の前駆体としてエネルギー生成や老化制御に関わる物質として、欧米等で広くサプリメントとして流通しています。米国の大学とNIHのエイジング部門が発表した研究では、NRが脳内に入ることで、アルツハイマー型認知症などの神経変性疾患に関連する代謝に影響することが明らかになりました。NRを接種したヒトの血中において、脳神経細胞から放出された細胞外小胞内のNAD+量を計測したところ、NRの接種により脳内におけるNAD+の量が増加し、それに伴ってアルツハイマー病に関連するアミロイドβやタウなどのバイオマーカーにも変化が見られました。これはまだ初期的な研究で、NR摂取およびNAD+の増加によるアルツハイマー病の発症抑制もしくは症状改善への影響に関しては、これから更なる研究が行われる予定です。当会としては、NRに限らず、NMNの摂取や、最近注目のNAD+点滴による効果も今後明らかになることを期待しています。



M Vreones, et al. Oral nicotinamide riboside raises NAD+ and lowers biomarkers of neurodegenerative pathology in plasma extracellular vesicles enriched for neuronal origin. *Aging Cell*, 2022; 22 (1)

## パーキンソン病と腸の深い関係

パーキンソン病 (以下PD) 患者は、運動障害等の発症前の最長20年ほどにわたり、睡眠障害、鬱、便秘など、一見PDと無関係な様々な症状を経験するケースが多いことがこれまでの研究で分かっています。中でも便秘は、PD患者の約70%が経験するといわれており、今までも腸内細菌とPDの関連性を示唆した研究が発表されてきました。8月に発表されたコロンビア大学の研究では、腸における免疫反応がPDの発症に影響を与えるという仮説の検証が行われました。PD患者と同様に遺伝子操作したマウスと通常のマウスに、腸管免疫反応を起こす注射を行ったところ、PDマウスでは腸管の炎症反応だけでなく、腸管神経系における腸管ニューロンの喪失や腸管ドーパミン作動性ニューロンの損傷を引き起こすことがわかりました。研究者は「今後はPD患者の腸内細菌叢の特徴を研究することで、PDを引き起こす炎症や遺伝子変異の原因がわかるかもしれない」と述べています。実際に腸内の免疫反応がPDの発症を直接的に引き起こすかは、今後の研究で検証が必要ですが、PDの発症において、腸内環境が重要な関連性を持つことは間違いのないと言えるでしょう。

F. Garretti, et al. Interaction of an  $\alpha$ -synuclein epitope with HLA-DRB1\*15:01 triggers enteric features in mice reminiscent of prodromal Parkinson's disease. *Neuron*. 2023 Aug 11;S0896-6273(23)00548-2.

## Doctors' Voices

顧問医師

やなぎさわあつお  
柳澤 厚生先生



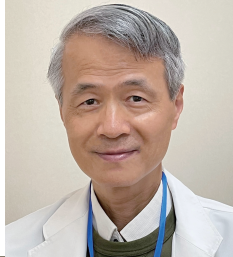
### 標準治療の効果を高める 「サルベストロール」治療

私のクリニックでは、がんと戦う体づくりのための食事・栄養指導を行います。どの栄養素ががん患者さんに不足しがちか、長年の研究や論文で分かっていますので、その知見を活かしサプリメントや点滴での栄養補給を開始します。抗がん剤や手術等の標準治療を行う場合も「高濃度ビタミンC点滴」や「サルベストロール」治療を中心とした補助治療を行います。これらを単独で行う場合もありますが、**標準治療と並行して行うことで、抗がん剤の効果を高め、QOL低下を防止する効果も期待できます。**

### がんと向き合える サルベストロール

お年寄りを通販などでサプリを飲んでいる方が多く、お薦めするとすぐに切り替えてくれます。**サプリメントではありますが、がんと真正面から向き合うことができます。**

ゆうあい内科・  
脳神経クリニック  
院長  
金三雄先生



### リスクを抱える方 への予防に

通院が大変な方に、**自宅で飲むサプリメントは重宝**しています。サルベストロールの効果や良さは患者様が理解しやすいのでお薦めしやすく、今後、**がんリスクを抱えている方への予防**としても薦めていきたいです。



フェリシティ  
クリニック名古屋  
院長  
河合隆志先生

### 愛するペットの がん予防にも

**自分で使ってみて、良さを実感**しました。作用機序が分かりやすく、納得したことで導入を決意。また、人間に効果が出ていることが飼い主さんの説得材料になっています。

動物病院かねがふち  
院長  
北澤由紀子  
先生



大阪肛門科診療所  
副院長  
佐々木みのり  
先生

### ブログで 問い合わせ増！

導入したきっかけは、がん治療中の友人のため。その後、私個人の**ブログで紹介したところ、患者からの問い合わせが急増**。今ではがん治療中の方の多くが利用してくれています。

多くのドクターからご信頼いただき  
**がん治療・予防の現場で  
活用いただいています。**

取扱い施設**460**カ所突破！

サルベストロールを導入されている医療機関の先生方からいただいた、処方の方、患者様へのすすめ方など貴重なお声をご紹介させていただきます。

サルベストロール治療を  
導入している先生方のお声

多くの医療機関様から  
信頼をいただくサルベストロール  
**是非この機会に、  
先生のクリニックでも  
導入しませんか？**



# 会員サービスのご案内

メールマガジンにご登録ください!

医学情報、柳澤会長からの動画をはじめ、各種キャンペーンやお得な情報をお送りしております。お見逃しなく！メールマガジンのご登録は無料です。

ログイン後マイページよりご登録ください!



## 会員サービス一覧

様々な会員サービスをご用意しています。ぜひ、ご利用ください。

### 認定医制度

- ・高濃度ビタミンC点滴療法認定医
- ・キレーション療法認定医
- ・オゾン療法認定医

### 学習サポート

- ・症例・論文
- ・医学情報の提供
- ・会員専用Q&A
- ・動画学習
- ・セミナー優待
- ・学習コラム配信
- ・他学会連携

国際オーソモレキュラー医学会  
日本オーソモレキュラー医学会  
国際個別化医療学会

### クリニック運営サポート

- ・クリニック検索一覧掲載
- ・クリニック詳細ページ作成サービス
- ・集患サポートパック
- ・点滴療法同意書ダウンロード
- ・リンク用バナー配布
- ・オンラインショップ
- ・書籍掲載
- ・会員証発行

## クリニック運営サポート スタッフ教育・集患・販促強化

点滴療法の提供体制の構築から、集患や院内販促まで！クリニックの運営をサポートする商品・サービスをご提供

### スタッフ教育

先生方や医療スタッフ向けサポート教材

#### 手技マニュアル



質の向上、スタッフ教育に！

#### 手技動画



※USB フラッシュメモリにて頒布

点滴療法をこれから導入する先生や、スタッフの方を対象に、高濃度ビタミンC25g点滴の作成と手技の一連の流れやコツを解説。

- 穿刺のコツ・血管の選び方
- ミキシング・プライミングのコツ
- 点滴中のおこりやすいトラブル
- 点滴療法の質を上げるコツ

【全99ページ】  
点滴バッグの準備から穿刺までの一連の流れやコツを詳しくカラー写真の図解で解説。

### 集患強化

クリニック検索サイト

#### クリニック検索掲載 & 詳細ページ作成

自院の認知拡大・集患に！



年間検索回数 80,000回以上！

当会ウェブサイトのクリニック検索一覧にて自院の情報を詳しく掲載。点滴療法を受けたい患者様への強力な訴求ツール。

### 院内販促

待合室などで患者様の興味と理解を喚起！

#### リーフレット

(+掲示用A3ポスターつき)



点滴療法の興味と理解を喚起！

#### 院内販促動画



- 全6種 [高濃度ビタミンC点滴療法(がん治療版or美容・アンチエイジング版) / マイヤーズカクテル点滴療法 / 歯科医院における点滴療法 / グルタチオン点滴療法(美容・パーキンソン病版)]
- ゴム印・シール貼付スペースあり

- 高濃度ビタミンC点滴療法(がん治療版)
- 高濃度ビタミンC点滴療法(アンチエイジング版)
- マイヤーズカクテル点滴療法
- 歯科医院における点滴療法
- グルタチオン点滴療法(美容版) **NEW!**

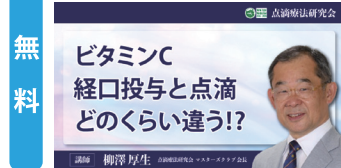
会員限定 オンラインショップにて販売中!▶



### 学習サポート

## 動画学習

スタッフ教育にもオススメ!



動画一覧はこちら



### 学習サポート

## 症例・論文

会員サイトでは点滴治療に関する症例やエビデンスを紹介しております。

閲覧には、ログインが必要です。



「症例から学ぶ」掲載例

「論文から学ぶ」掲載例

- 「高濃度ビタミンC点滴療法 高濃度ビタミンC点滴療法が奏効した2症例」 健康増進クリニック 院長 水上 治 先生
- 「オゾン療法 線維筋痛症、気分障害、不安障害」 鎌倉元氣クリニック 院長 松村 浩道先生
- 「高濃度ビタミンC点滴療法に関連する代表的な基礎研究」 Ascorbate regulates haematopoietic stem cell function and leukaemogenesis *Nature*(2017) doi:10.1038/nature23876
- 「グルタチオン点滴療法に関連する論文」 Anti-cancer effect of pharmacologic ascorbate and its interaction with supplementary parenteral glutathione in preclinical cancer models. *Free Radic Biol Med.* 2011 Aug 1;51(3):681-7





アークレイマーケティング株式会社

ポケットケムVCは自己血糖測定器と全く同じ手順で簡単に血中のビタミンC相当値を得ることが可能です。

TEL.050-5527-7700

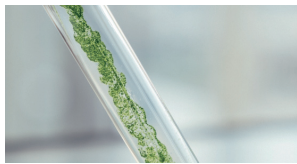


AidanProducts

株式会社アイダンプロダクツジャパン

柳澤先生ご監修のミトコンドリア活性サプリMITO ATPの取扱いをしております。

TEL.03-6811-1318



株式会社アルガルバイオ

アルガルバイオは、東京大学における20年以上の研究成果を基に、新しい機能性クロレラを選出しました。

TEL.04-7138-6207



アンブロシア株式会社

各種検査(遅延型フードアレルギー/重金属/有機酸・環境汚染物質/副腎ストレス/SIBO/ビタミンD/ホルモン)

TEL.044-299-7946



株式会社イムダイン

栄養補助食品の製造、販売。  
水素・酵素・声のサプリメントなどの展示。

TEL.03-5467-6284



NATUMEDICA

Wismettacフーズ株式会社  
ナチュメディカ事業グループ

ナチュメディカサプリメントは科学的根拠・機能性にこだわり、柳澤先生監修のIVCシリーズ等ございます。

TEL.03-6870-2006



株式会社ウェルハート

海外の医薬品や医療機器の輸入に係る手続きの代行、調達、輸送時の商品管理等のサポートを行います。

TEL.03-6812-5501



株式会社AOBメディカル

1, 幹細胞培養上清の販売 2, メディカル・コンシェルジュ 3, 美容医療 4, 化粧品、美容機器などの販売

TEL.03-6427-7785



NADクリニック

NADクリニックのNAD+関連製品の販売 ■NAD+点滴 ■NAD+サプリメント

TEL.03-6759-9440



一般社団法人NMN医療研究会

NMN点滴研究用試薬

TEL.03-6263-0152

メディカルサプリメントの  
リーディングカンパニー



株式会社MSS

医科向けシェアNo.1のMSSサプリメントは、「医師の使用に耐えうる性能と品質」をお約束します。

TEL.03-5366-0208



オーガニックサイエンス株式会社

日本のマグネシウム研究をリードし、100%天然成分に拘ったマグバームやマグリボ等の開発・製造を行う。

TEL.0800-222-0986



有限会社クレア・ラボ・ジャパン

米国では50年以上も医師に活用されている、多菌種混合のプロバイオティクスサプリメントを提供しております。

TEL.045-534-9518



株式会社玄米酵素

1971年創業。玄米を麹菌で発酵した自然派サプリ。ビタミン、ミネラル、食物繊維、抗酸化物質が豊富。

TEL.011-736-2345



株式会社サルベストロールジャパン

がん治療を目的とした医療機関向けサプリメント・サルベストロールプラチナム2000を販売。

TEL.03-6450-2406



株式会社 すかい21

瞬時にわかる計測システム「Scanアナライザー」や「MDケイ素」など測定からソリューションまで幅広く取扱い。

TEL.098-887-2012



からだの  
真の内側へ。

株式会社スピック

Lypo-Cは、微小な脂質カプセルである「リポソーム」に有用成分を閉じ込めて、からだのすみずみまで適切に届けます。

TEL.0467-23-8161



株式会社SOPHIA

ポストバイオティクスという乳酸菌やビフィズス菌の代謝産物の腸活サプリ。腸と免疫のサポートをします。

TEL.03-6276-1551



**第一産業株式会社**

九州大学・昭和大学歯学部・日本歯科大学との共同研究を基に開発した、口腔内専用のパワーフコイダンマウスジェルCG TEL.06-6131-0370



**共同購入VC受注代行センター  
(有限会社ディスプレイナショナル)**

Mylan社ビタミンC製剤・Woerwag社αリポ酸製剤の受注窓口として、受注業務を代行しています。 TEL.03-6300-0152



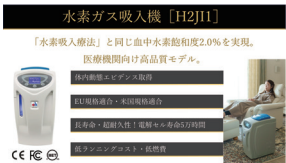
**株式会社デトックス**

治療製剤とサプリメントを提供しています。検査はがん、自閉症、精神疾患、認知症、免疫関連と幅広くカバー。 TEL.03-5876-4511



**東楽新薬株式会社**

露地栽培アガリクスKA21の研究開発会社。免疫、育毛、口腔・腔・腸カンジダ対策サブリの無料サンプル進呈中。 TEL.0422-26-7310



**株式会社ドクターズ・マン**

慶大医学部が推進する「水素吸入療法」と同等の血中水素飽和度2.0%になることが科学的に証明された水素吸入機 TEL.045-905-2330

**NEO AGING**

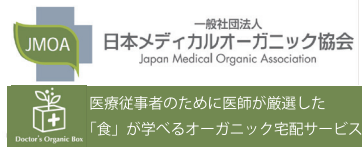
**株式会社DORIS**

「NEO AGING」これまでの老化対策「抗老化/アンチエイジング」に新たなテクノロジーが加わりました。 TEL.03-3564-1550



**一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会**

正しい栄養療法の理解と認知を広げるためにWebメディアで情報を発信するとともにセミナーを開催。 TEL.03-6821-1461



**一般社団法人日本メディカルオーガニック協会**

毎月テーマに沿った「食・栄養に関する医学情報誌」と厳選した「オーガニック食品セット」をお届け。 TEL.03-6277-3011



**株式会社ニュートリション・アクト**

医療機関専用サプリメントを各種取扱。アンチエイジングのためのDNA保護・修復、ミトコンドリア増殖・活性化 TEL.03-3538-5811



**ネスレ日本株式会社**

総合食品メーカー。Pure社のサプリメント等、消費者の健康に貢献する商品を展開。 TEL.03-5769-6228



**株式会社BARNUM**

美容機器(ニードルレスインジェクター REIZ)の製造・販売。美容器材、ヘルスケア製品(グラフェンジェル)の販売。 TEL.03-4590-6772



**株式会社ビーアンドエス・コーポレーション**

◆医師がすすめる乳酸菌サブリ『アルベックス』  
◆認知機能改善サブリ『プラスマローゲン』 TEL.03-3288-0068



**株式会社First・Health・Japan**

USBioTek社/NutriPATH日本総代理店、海外調剤薬局配合剤、G6PD迅速定量検査、ビタミンD迅速検査等 TEL.03-5799-7085



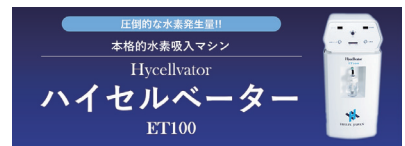
**株式会社分子生理化学研究所**

全国約5,000の医療機関導入の医療機関向けサプリメントメーカーです。医師が選ぶサブリNo.1を獲得。 TEL.03-6233-9008



**ベネビオ株式会社**

独自のリポソーム技術を用いた国内製造のリポソームサプリメントシリーズ「リポビット」を販売しています。 TEL.03-6804-6046



**株式会社ヘリックスジャパン**

水素・酸素の混合ガス吸入機「ハイセルベーター」。業界最高水準の水素発生量1,200ml/分です。 TEL.03-3234-8000



**株式会社LiNK**

ヨウ素製剤に関する臨床・研究の情報収集、他学会・団体との交流・親交を深め知識向上を目的とした講習会・学術活動を実施。 TEL.03-6417-1920



**一般社団法人 臨床水素治療研究会**

水素点滴を用いた各種疾病の治療や予防効果の調査研究、水素治療における専門的な知識向上を目的としています。 TEL.03-3221-6313



# 点滴療法研究会推奨の点滴製剤・試薬のご案内

## ビタミンC

## 高濃度ビタミンC点滴

## マイラン社

高濃度ビタミンC点滴（10g以上）には、防腐剤の入っていない安全なビタミンC製剤が必要です。国産の製剤は、防腐剤が入っているため適しません。また、ビタミンCは温度変化によって不安定になるため、製造工場からクリニックまで2～8℃の冷蔵保管が義務づけられています。当会では、冷蔵空輸にて日本に出荷される安全なマイラン社製のビタミンC製剤を推奨しています。

資料請求は  
コチラ



## NMN

## 完全β-NMN点滴

## 一般社団法人 NMN医療研究会

NMNには、分子構造の異なるα-NMNとβ-NMNの2種類が存在し、人体で生成され、有益な効果を持つのはβ-NMNのみとされています。Bio Umbrella社のNMN製剤は、完全殺菌環境を作り出すために製造毎にオゾンガスを使用した殺菌を行い、粉塵・細菌が存在しない環境で製造し、保存液も一切使用していない純粋なβ-NMN製剤です。

※原料元：ミライラボバイオサイエンス（株）

※試薬でのご提供

資料請求は  
コチラ



## エクソソーム

## PURE EXOSOME 点滴

## AZACLI

エクソソームに内包されている無数のマイクロRNAによる細胞老化の修復や慢性疾患等のリスク低減について、大学等研究機関で研究が進んでいます。

当会では先生方の研究に使っていただきやすい試薬として提供しております。

※試薬でのご提供

お問い合わせは  
コチラ



## グルタチオン

## グルタチオン点滴

## AOBメディカル

昨今、国産グルタチオン製剤の流通が制限されている状況から、安全な日本製原料を使用した台湾製グルタチオン製剤をご紹介します。製薬会社であるTAI YU CHEMICAL&PHARMACEUTICAL社製のグルタチオン製剤は、台湾で薬として国に認可されています。

※輸入代行：AOB MEDICAL社

※ご購入は、AOB MEDICALのウェブサイトより、会員登録（無料）が必要です。

ご購入は  
コチラ



価格・最低発注個数などの詳細はこちらから ▶



会報誌の内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

【発行元】点滴療法研究会 【発行月】2023.10

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-23-13 アルカイビル4F / Tel: 03-6277-3318 / E-mail: info@iv-therapy.jp